

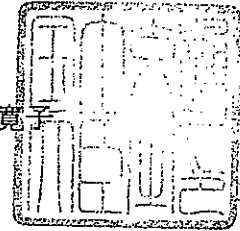


認 定 書

国住指第2417号
平成14年3月15日

三菱マテリアル建材株式会社
代表取締役 野田文彦 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第七号及び同法施行令第107条第一号（柱：2時間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

FP120CN-9234

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

繊維混入けい酸カルシウムセメント押出成形板／吹付ロックウール合成被覆／
鉄骨柱

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

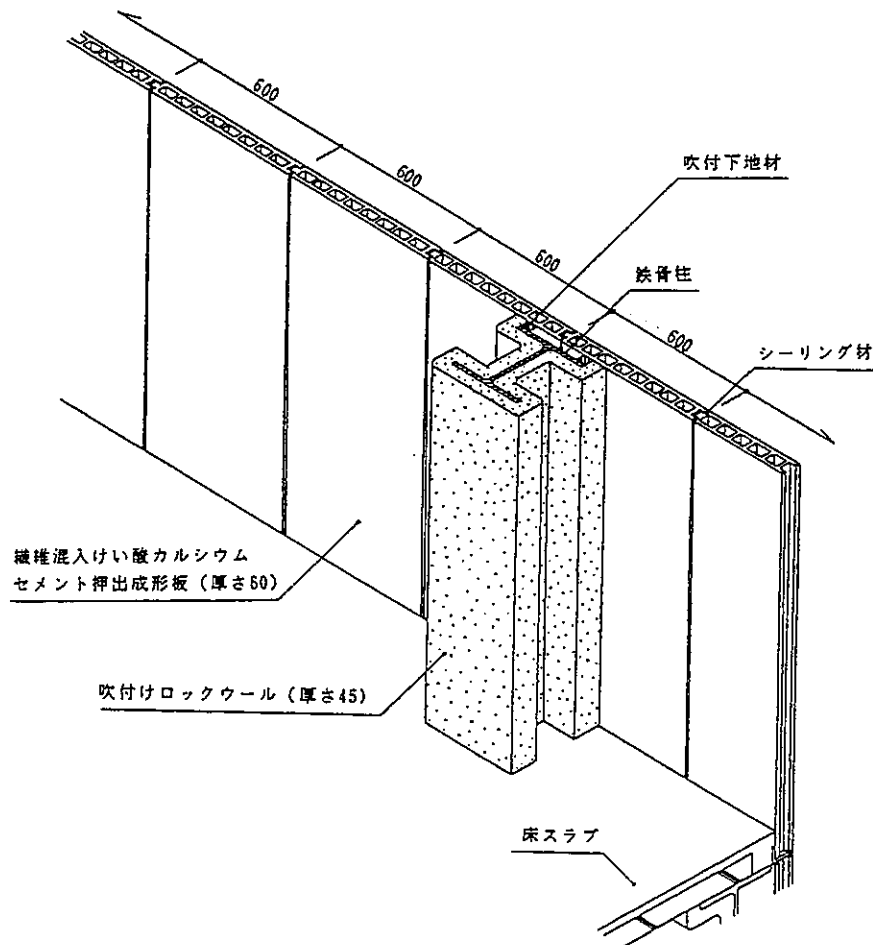
耐火構造 第2章 柱 2時間耐火 C2145-繊維混入けい酸カルシウムセメント
押出成形板 (60mm) 等合成被覆鉄骨柱<メ
スNA M・R-C-120> 270-527

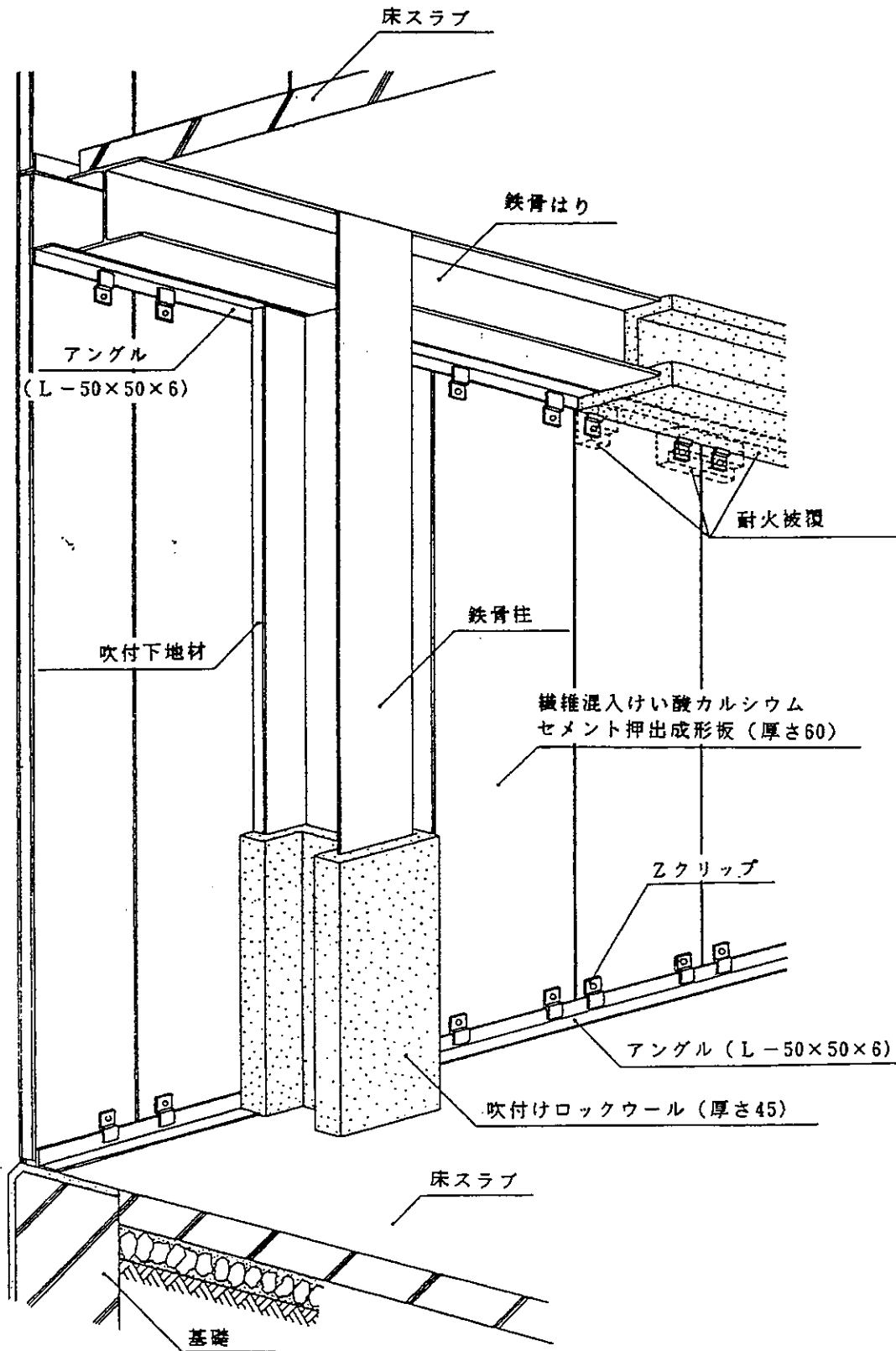
指定番号	耐火 C2145	指定年月日：平成5年3月12日
品目名	繊維混入けい酸カルシウムセメント押 出成形板 (60mm) 吹付けロックウール (45mm) 合成被覆鉄骨柱	申請者名：三菱マテリアル建材(株) 東京都新宿区新宿2-3-10 (新宿御苑ビル) TEL(03)5269-7801 工場名：建材事業本部 市川工場 兵庫県神崎郡市川町神崎 769-1 TEL(0790)28-0212 明菱メース(株) 明野工場 茨城県真壁郡明野町鍋山 738 TEL(0296)52-5700 道菱メース(株) 美唄工場 北海道美唄市東8条北5-11 TEL(01266)8-8408
商品名	メスNA M・R-C-120	

1. 部分、耐火性能の区分 柱 2時間耐火
2. 試験機関名 (財)建材試験センター中国試験所 受託番号 依試第50794号
3. 構造説明図 (単位 mm)

透視図

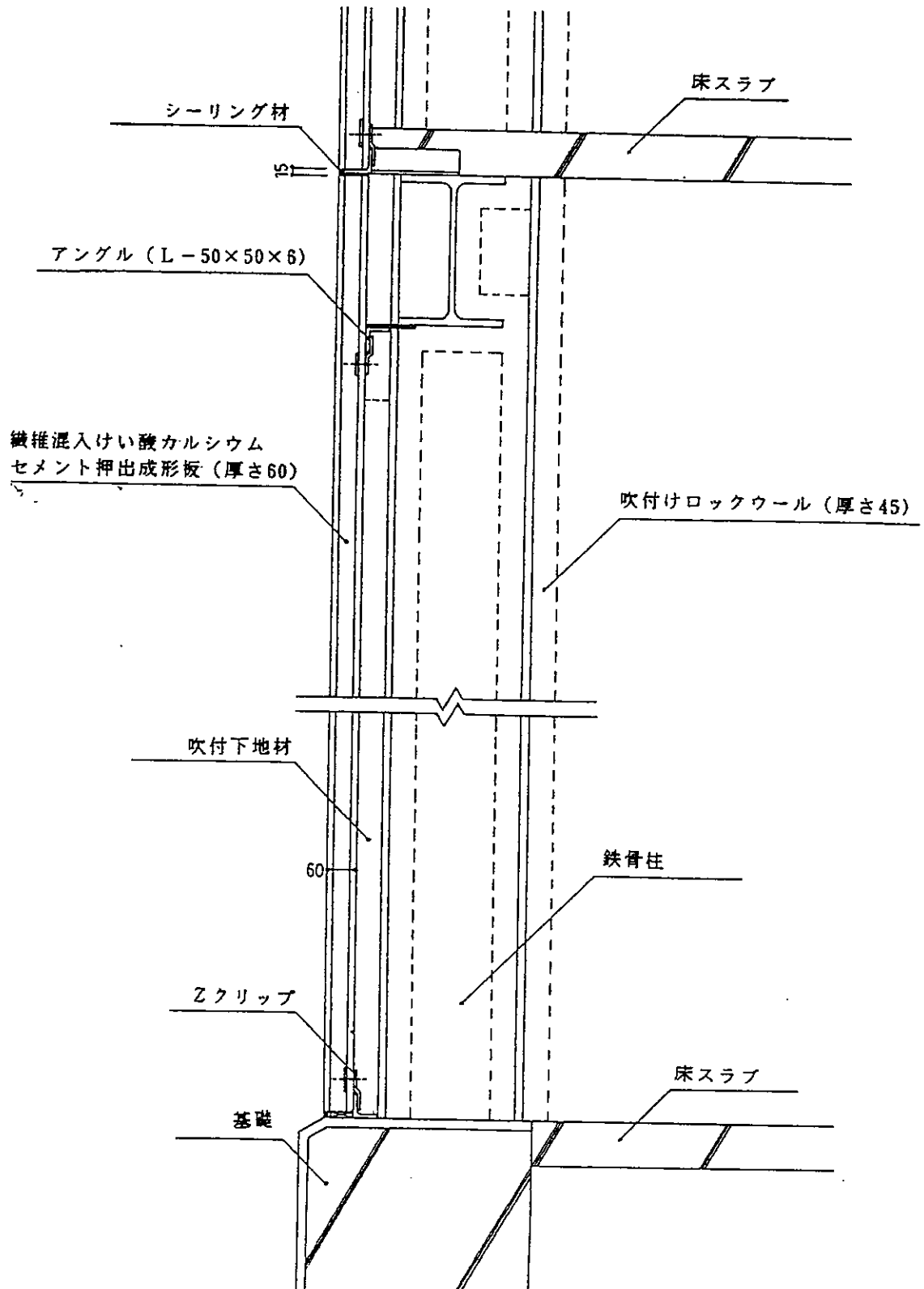
耐火三〇八一三〇号





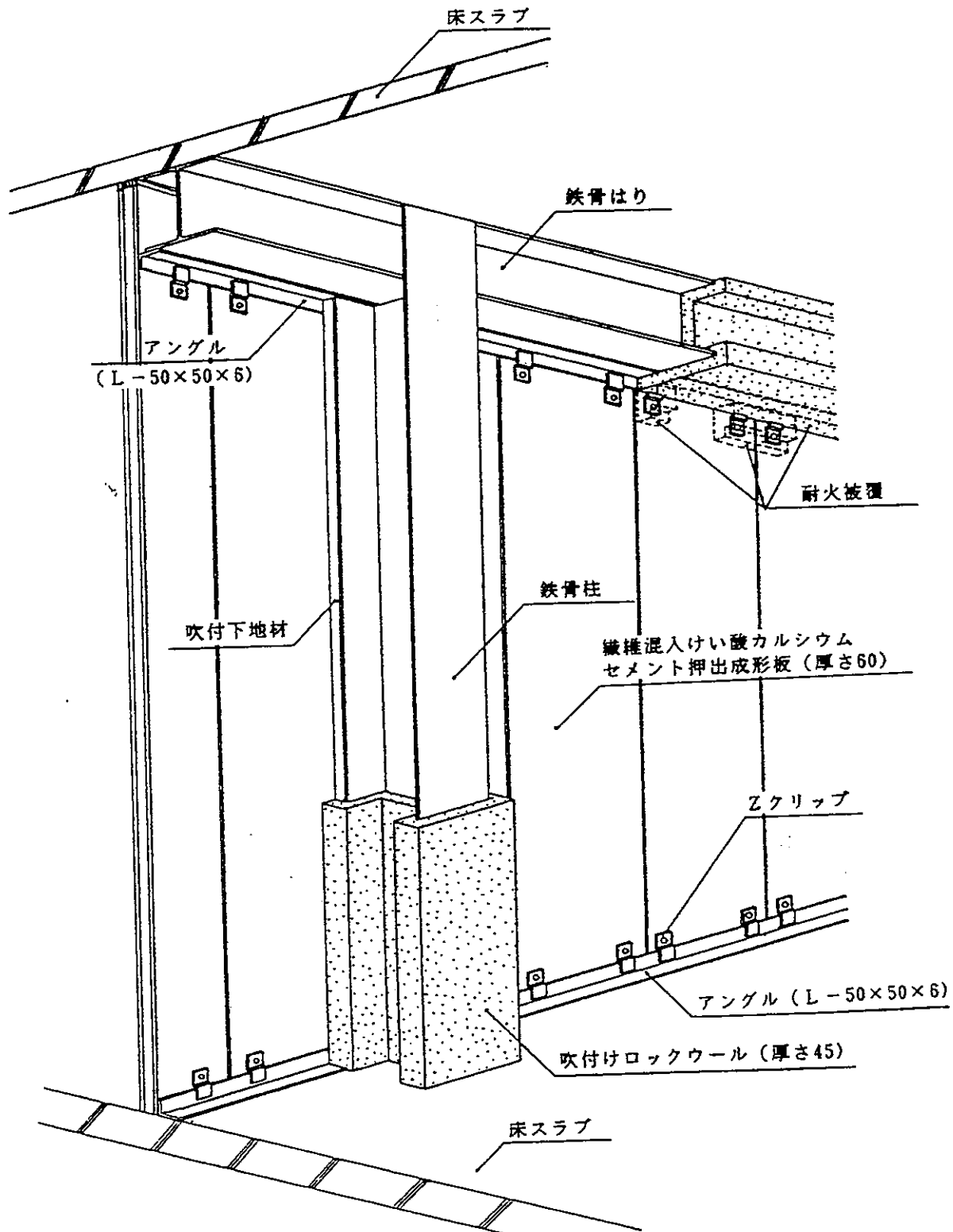
耐火三〇八一三二〇号

垂直断面図



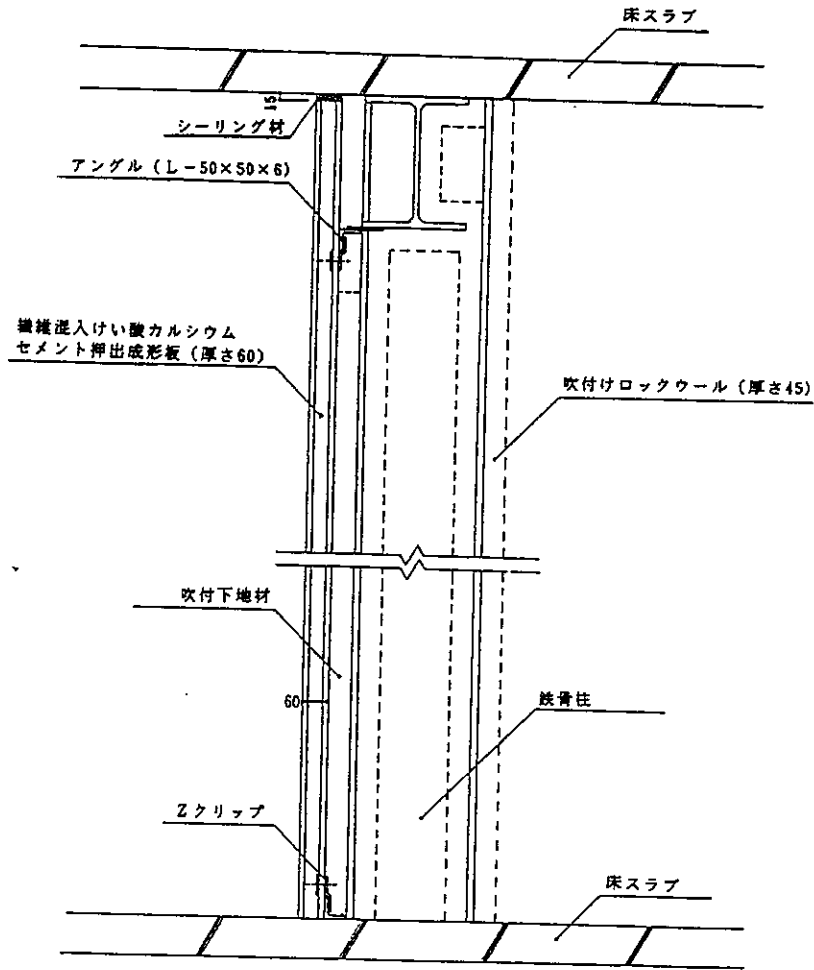
耐火三〇八―三二〇号

透視図



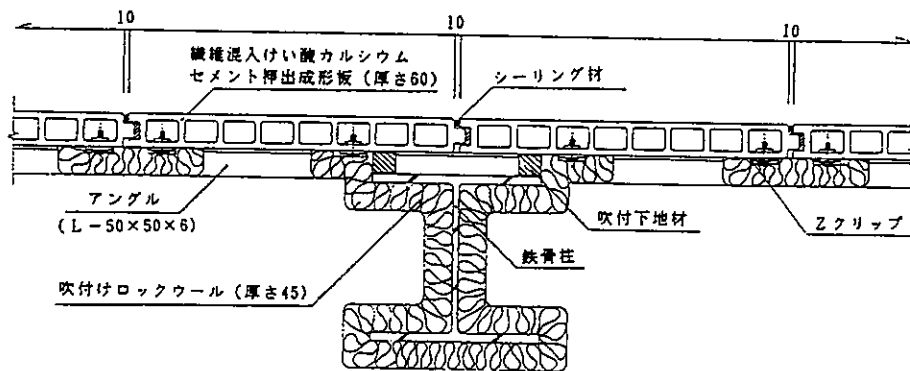
耐火三〇八三三〇号

垂直断面図



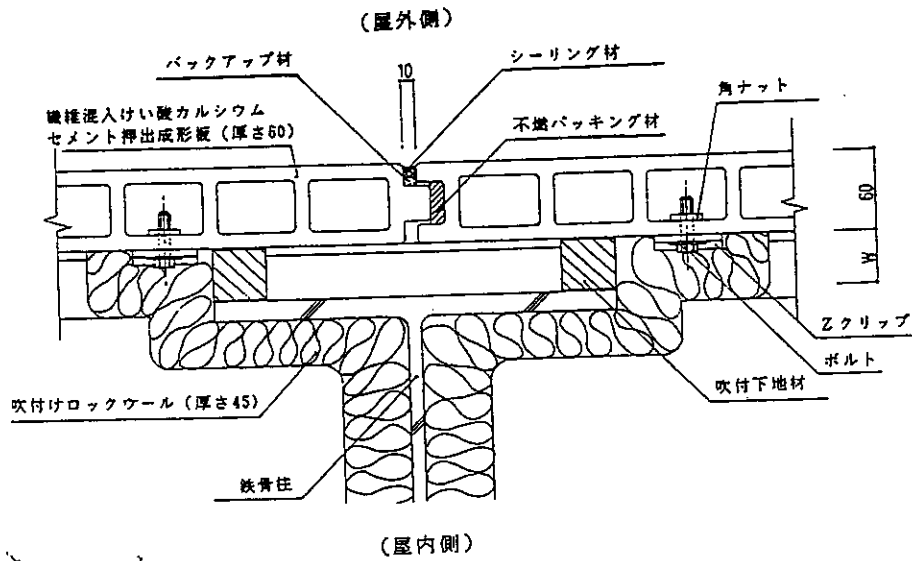
耐火三〇八一三〇号

水平断面図

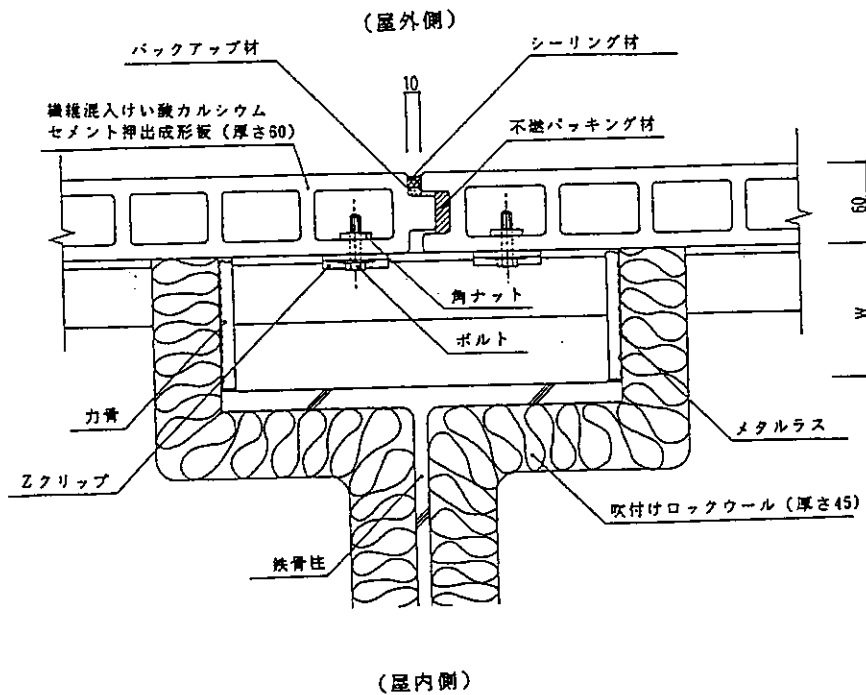


目地部詳細図

(1) Wが60mm以下の場合



(2) Wが60mm以上 350mm以下の場合



耐火三〇八〇三〇号

4. 材料等説明

4-1 主構成材料

- (1) 繊維混入けい酸カルシウムセメント押出成形板
 (商品名 メ-スNA (不燃 (個) 第11123号)

(イ) 性能 (パネル)

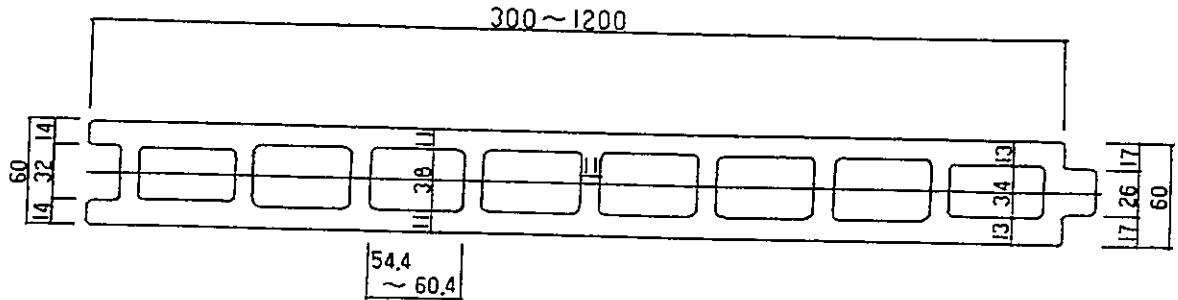
かさ比重: 1.8±0.2

曲げ強度: 100kg/cm²以上

吸水率: 16%以下

含水率: 10%以下 (出荷時)

(ロ) 形状及び標準寸法 (単位 mm)



項 目	寸 法	寸 法 精 度
厚 さ (全厚)	60	±2
肉 厚	11	+3、 -1
長 さ	5,000以下	0、 -2
幅	300~1200	0、 -2

耐火三〇八三三〇号

(3) 吹付けロックウール (耐火 (通) C2211による)

(イ) 材 料

ロックウール: 建設大臣認定不燃第1022号 (ロックウール保温材) の認定品で、JIS A 9504 (ロックウール保温材) の規格品であるものとする。

セメント: JIS R 5210 (ポルトランドセメント) 又は、JIS R 5211 (高炉セメント) に適合するもの或いは白色セメント。

(ロ) 配 合

材料名	ロックウール	セメント
重量比	60~75%	25~40%

(ハ) 被覆厚さ 45mm以上

(ニ) かさ比重 0.34以上 (絶乾)

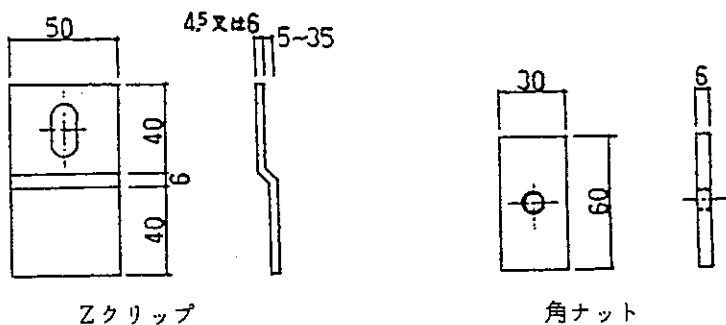
(4) 鉄骨柱

H形鋼 材質 JIS G 3101 形状 JIS G 3192

角形鋼管 JIS G 3466

4-2 副構成材料

- (1) アンゲル : L-50×50×6 (JIS G 3192)
- (2) 留付金具 : Zクリップ 一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101)
- (3) ボルト : M8、W3/8又はM10ボルト (JIS B 1180)
- (4) 角ナット : 一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101)



- (5) 不燃パッキング材: ロックウールフェルト (150±30kg/m²)
 (不燃 第1022号、不燃 (個) 第11214号、その他不燃認定品)
 グラスウールマット $\left[\begin{matrix} 120+40\text{kg/m}^2 \\ -20 \end{matrix} \right]$
 (不燃 第1031号、不燃 (個) 第1889号、その他不燃認定品)
 ロックウール保温板 $\left[\begin{matrix} 120+20\text{kg/m}^2 \\ -40 \end{matrix} \right]$
 (不燃 第1022号、その他不燃認定品)
 セラミックファイバーフェルト $\left[\begin{matrix} 120+40\text{kg/m}^2 \\ -20 \end{matrix} \right]$
 (不燃 (個) 第1519号、不燃 (個) 第11249号、不燃 (個) 第11244号、不燃 (個) 第11295号、その他不燃認定品)
- (6) バックアップ材: ポリエチレン発泡体 (2 g/m)
- (7) シーリング材: 変成シリコン系、ポリサルファイド系、アクリルウレタン系、ポリウレタン系、アクリル系、ブチルゴム系及びポリマーセメント系 (100±30g/m)、定形ガスケット
 (JIS A 5758 (建築用シーリング材) 耐久性区分7020以上)
 (JIS A 5756 (建築用ガスケット))
- (8) 無機質断熱材: ロックウールフェルト (150±30kg/m²)
 (不燃 第1022号、不燃 (個) 第11214号、その他不燃認定品)
 ロックウール保温板 $\left[\begin{matrix} 120+20\text{kg/m}^2 \\ -40 \end{matrix} \right]$
 (不燃 第1022号、その他不燃認定品)
 セラミックファイバーフェルト $\left[\begin{matrix} 120+40\text{kg/m}^2 \\ -20 \end{matrix} \right]$
 (不燃 (個) 第1519号、不燃 (個) 第11249号、不燃 (個) 第11244号、不燃 (個) 第11295号、その他不燃認定品)
 モルタル
- (9) 吹付け下地材: 繊維混入けい酸カルシウム板 (不燃第1061号)
 (通し材) (寸法 幅40mm以上、厚さ29mm以上)
 ロックウール保温板 $\left[\begin{matrix} 120+20\text{kg/m}^2 \\ -40 \end{matrix} \right]$
 (寸法 幅30mm以上、厚さ10mm以上)

耐火三〇八一三〇号

力骨(鉄筋コンクリート用棒鋼(JIS G 3112) ϕ 9mm以上)
メタルラス 平ラス3号(JIS A 5505)

5. 標準仕様(施工仕様)

(1) 墨出し

鉄骨柱にパネルを正しく取り付ける為、基準となる墨出しを正確に行なう。

(2) 下地金物取付け

- ① 鉄骨柱の下部にパネル荷受けアングル(L-50×50×6)を通りよく水平に取付ける。荷受けアングルは、鉄骨柱に対しては溶接、床スラブに対してはアンカーボルトで取付ける。
- ② 鉄骨柱の上部にはパネル受けアングル(L-50×50×6)を溶接で、荷受けアングルに下げ振りて面を揃え且つ水平に取付ける。

(3) 留付金具の取付け

- ① 平置きしたパネル面の長手方向上下(又は左右)にZクリップ取付け用ボルト穴(4カ所)をあける。
- ② 中空部より角ナットを挿入して、パネル面にZクリップをボルトで仮留めする。

(4) パネルの建込み

- ① パネルを建込み位置に移動し、パネル本実凹部に不燃パッキング材を挿入する。
- ② パネルはナイロンスリング等を使用し吊り上げ、下部をパネル荷受けアングルの上に置き上部はパネル受けアングルに建入れよく据付け、アングルにZクリップで挟みボルト、ナットで留め付ける。
- ③ パネルは1枚毎、目地幅10mmにして建込み、垂直、水平、割付け、目地通りを確認しZクリップを本締めして建込みを進める。

(5) 目地部、端末部処理

- ① ジョイント目地は底部にバックアップ材を挿入してシーリング材を充填する。
- ② パネル端末部の隙間は無機質断熱材を埋め、外壁面、片面はシーリング材を充填する。
- ③ 階層間の床スラブとパネルの間は無機質断熱材を充分密実につめる。

(6) 吹付けロックウールの施工(耐火(通)C2211による)

(イ) 吹付け下地の清掃

浮き錆び及びび付着油等吹付けに支障を来すおそれのあるものは十分清掃する。

(ロ) 吹付け下地の取付け

鉄骨柱とパネルとの取合い部の隙間が60mm以下の場合は吹付下地材として繊維混入けい酸カルシウム板又はロックウールマットを取付ける。

鉄骨柱とパネルとの取合い部の隙間が60mm以上の場合はメタルラスの下地を取付ける。

力骨の取付けはピッチ450mm以下とし、鉄骨柱に溶接する。

(ハ) 吹付け作業

㊸ 工場配合の場合

吹付け機で作業階まで輸送された配合材料を、ノズル先端の周囲から噴霧化された水で包み込み、湿潤させながら均一に下地面に吹付ける。

配合材料に対する水の量は0.75~1.0(重量比)の範囲とする。

㊹ セメントスラリーを用いる現場配合の場合

① あらかじめ水とセメントを攪拌機で混合スラリーとする。スラリー中のセメント濃度は25~40%(重量比)とする。

② ロックウール及びスラリーの吐出量を規定の配合比率を満たすように調整する。

- ㊦ 吹付け機で作業階まで輸送されたロックウールをノズル先端部で噴霧化されたスラリーと混合しながら均一に下地面に吹付ける。
- ㊧ 吹付けは1～2回吹きとする。ただし表面仕上げを要する場合は、修正吹きを行う。

(二) 品質の確保

㊨ 厚さの確保

吹付け厚さは、作業者が厚さ測定器で厚さを確認しながら吹付けを行う。

㊩ かさ比重の確保

かさ比重を確保するための材料(ロックウール+セメント)の使用量は13.5kg/m²以上とする。

㊪ 乾燥

乾燥は自然乾燥による。

6. 施工管理
 繊維混入けい酸カルシウムセメント押出成形板の施工は、三菱マテリアル建材株式会社の責任施工、又は指定販工店の施工とし、三菱マテリアル建材株式会社の責任管理とする。(建設業者登録番号：建設大臣許可(般-1)第5771号)

7. 留意事項

(1) 運搬

車輛に依る運搬は長手方向に平積とし、隅角部の保護当板やクッション材を挿入。
 輸送中は必ずビニールシート掛けを行い、雨水等に注意する。

(2) 保管

屋内等の乾燥した平坦な場所に台木を置き、その上に水平に積み上げる。
 積み上げ高さは1m以内とする。やむを得ず屋外に保管する場合は、ビニールシート掛けなどの防水保護を行う。

8. 付帯条件 なし

9. 表示及び報告

(1) 製品及び包装には右図の指定マークを貼付、押印又はその他の方法で表示する。

(2) 現場施工完了後に見え隠れとなる部分には、できるだけ多くの点検可能な部分に指定マークを付す。

(3) 表面仕上げにより点検できない部分には、仕上げの表面に指定マークを付す。

(4) 現場施工完了後に見え掛りとなる部分には、各室又はこれに準ずる用途上の区分毎に見やすい位置2ヶ所以上に指定マークを付す。

(5) 毎年度、本製品の生産実績、販売実績(又は使用実績)工場における品質管理の状況等を当該年度終了後1ヶ月以内(4月1日～4月30日迄)に建設大臣に報告する。

建設大臣指定 C-2145	5 cm
柱 2時間耐火	
繊維混入けい酸カルシウムセメント押出成形板(60mm)吹付ロックウール(45mm)合成被覆鉄骨柱 (メ-スNA M・R-C-120)	
三菱マテリアル建材株式会社	

5 cm

耐火三〇八一三二〇号

9. 注意事項

当該認定書において、「建築基準法の一部を改正する法律」(平成10年法律第100号)による改正前の建築基準法の規定による建設大臣の認定仕様がある場合は、平成14年6月1日以降は「建築基準法の一部を改正する法律」(平成10年法律第100号)による改正後の建築基準法の規定による当該認定仕様に係る国土交通大臣の認定仕様を用いるものとする。